

表紙

令和7年度総合型選抜A（一般）

論述試験

農学部 森林科学科

令和6年11月2日（土）実施

9時00分～10時30分

開始前に以下の注意事項をよく読んでおくこと。

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 「受験番号」は、解答用紙の受験番号欄に忘れずに記入すること。
3. この問題冊子には、3つの設問がある。
乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所があった場合には、申し出ること。
4. 解答は、必ず解答用紙の所定の解答欄に記入すること。
所定の欄以外に記入したものは、無効である。

令和7年度総合型選抜A（一般） 試験問題

科目名： 論述試験	学科名： 森林科学科
-----------	------------

問．表1、2および図1、2、3は我が国の林業に関する統計資料である。これらの資料について以下の問いに答えよ。

問1．表1および表2の項目について1980年を100とした割合を四捨五入して小数点第1位まで算出し解答用紙の表を完成させよ。なお、林業産出額については1980年以降のみを計算すること。

問2．問1で作成した表および各図表から読み取れる我が国の林業の過去から現在までの変遷について分析し600字以内で説明せよ。

問3．問2で分析した結果を踏まえて我が国における林業の課題について分析し、その課題の解決方法についてあなたの考えを600字以内で述べよ。

表1 林業産出額の推移

(単位: 億円)

	林業産出額	木材生産	栽培きのこ 類生産	その他	木材生産の 割合
S50 (1975)	9,020	7,861	1,015	144	87%
S55 (1980)	11,588	9,680	1,762	147	84%
H2 (1990)	9,775	7,285	2,294	196	75%
H12 (2000)	5,312	3,222	1,969	121	61%
H22 (2010)	4,257	1,953	2,189	115	46%
R2 (2020)	4,831	2,464	2,260	107	51%

出典: 令和5年度版森林・林業白書より一部抜粋

注: 「その他」は、薪炭生産及び林野副産物採取。

資料: 農林水産省「林業産出額」

表2 全国平均山元立木価格の推移

この部分は、著作権の都合上、公開できません。

出典: 令和5年度版森林・林業白書より一部抜粋

原典資料: 一般財団法人日本不動産研究所「山林素地及び山元立木価格調」、日本銀行「企業物価指数(日本銀行時系列統計データ検索サイト)」

注釈: 国内企業物価指数はR2(2020)年を100とした時の各年の指数である。

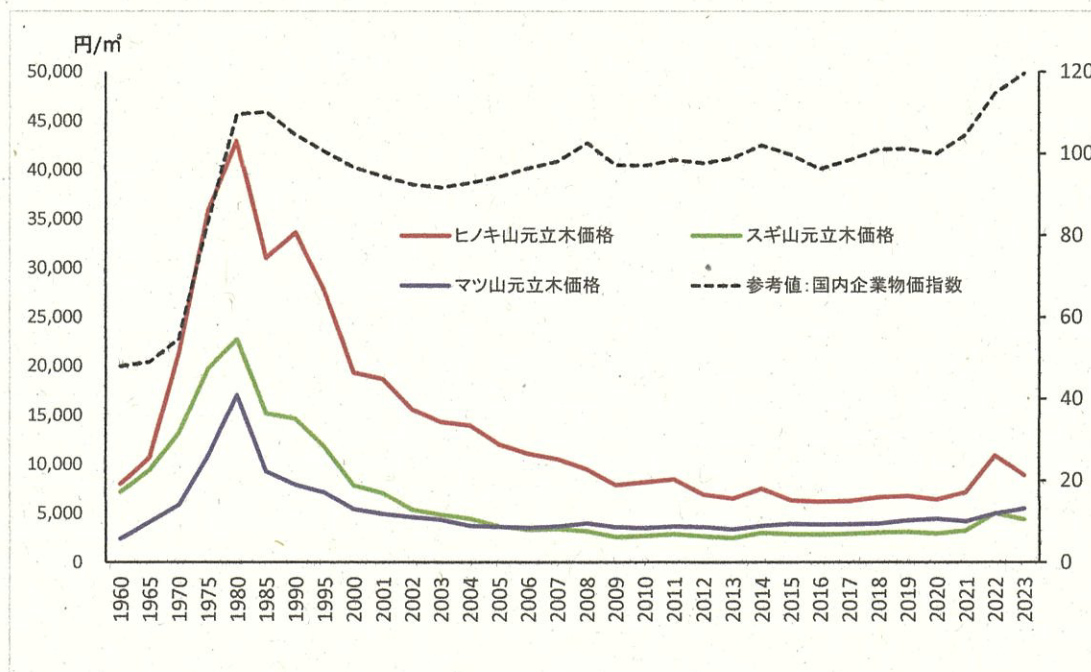


図1 国内における山元立木価格の推移

出典: 令和5年度版森林・林業白書

注1) 国内企業物価指数は2020年を100とした場合の各年の物価水準を示している。

注2) 山元立木価格とは、山に立っている状態での木の価格のことを示す。

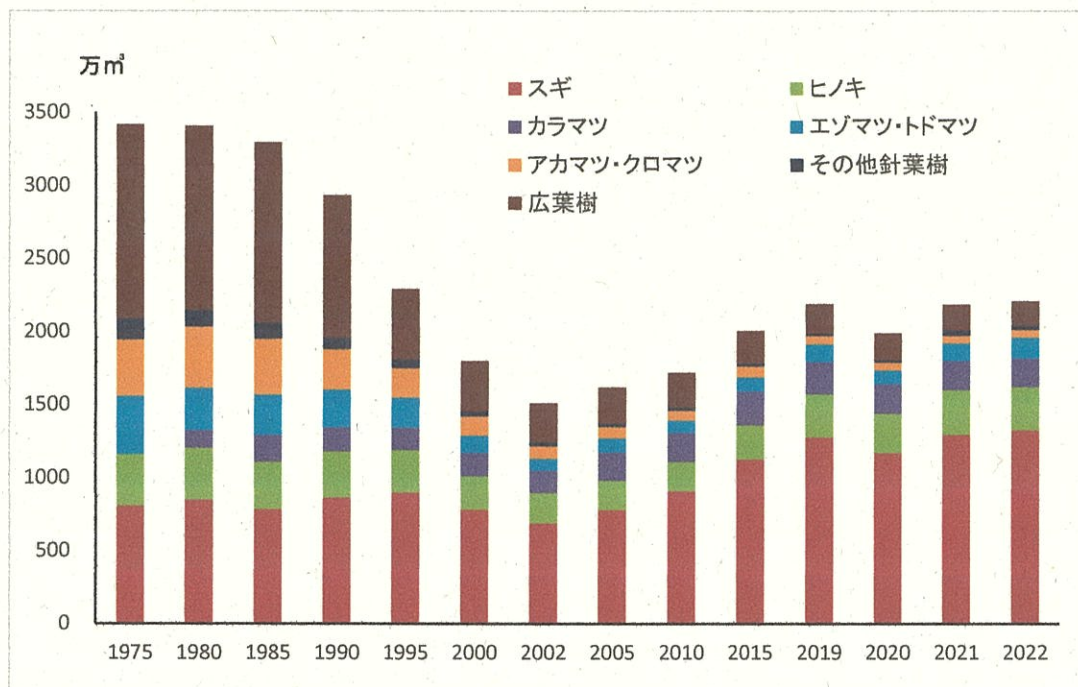


図2 国内における樹種別丸太生産量の推移

出典：令和5年度版森林・林業白書

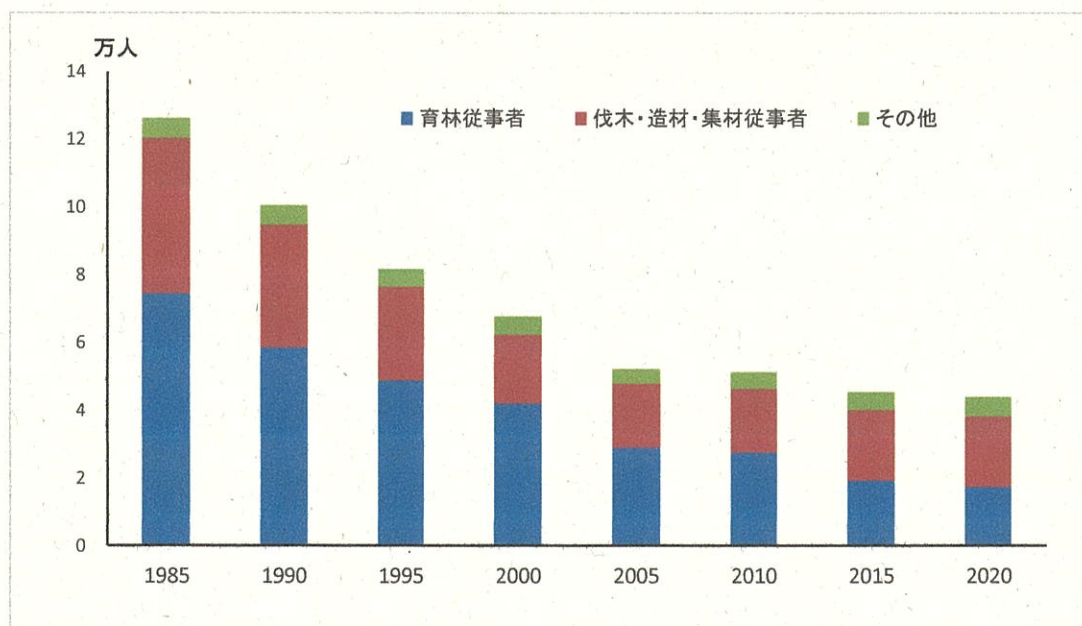


図3 林業従事者数の推移

出典：各年版国勢調査